

# 南風

津島市立南小学校校長室だより 第12号(60号)

平成28年10月4日 (月2回 発行)

南小HP『南風学舎』 ダイジェスト版

※ 合わせて南小学校HPをご覧ください

## 『ふれあい運動会』行われる

9月24日(土)校区ふれあい運動会を、地域・保護者の皆様のご支援のもと開催することができました。午後からの雨のため、2年生・6年生の家族競技を割愛させていただきましたが、ご協力ご支援ありがとうございました。

今年は、各学年が工夫した表現活動に加え、紅白の応援合戦が盛大に行われました。皆さんいかがでしたか。場所とりに始まり、後片づけまでたくさんのご協力ありがとうございました。

27日(火)、朝礼で校区ふれあい運動会の閉会式を行いました。雨のため延期となっていました。紅白対抗は「白組」が優勝。町内別対抗リレーは「常盤町」が連続優勝しました。



## 『社会見学』がスタート

9月28日(水)、今年の世界見学が始まりました。6年生が明治村、3年

生が日本昭和村へ行きました。あいにくの雨でしたが、子どもたちは見学や体験に全力で取り組んでくれました。3年生では、万華鏡作りを見ていました。子どもたちは、保護者の皆様に作っていただいたお弁当を楽しそうに食べていました。なお29日、2年生が名古屋港水族館、30日、5年生がリトルワールド・4年生が名古屋市科学館と愛知県警を訪ねました。



## 愛される学校づくりとは・・・私の願い

私は自分の勤務する学校を南風学舎と呼んでいます。少し古めかしい言い方ですが、津島市立南小の「南」をとり、校長室だよりを「南風（なんぷう）」、学校地域支援本部を「南風（みなみかぜ）」と命名しています。南風は、他の方の風と違って、何となく明るく、暖かく、人を育てるフォローのイメージをもつ風。そんな明るい学舎を、いつでも訪ねられる心のふるさとにしたいと願っています。

「愛される学校」とはどんな学校でしょうか。私は「親しみ」をもち、いつでも或いはいつか「かかわり」や「つながり」をもちたいと思う、まちの「ほこり」の学校。「愛される学校」とは、子どもたちにとって通いたくなる学校であり、保護者にとって通わせたい学校、教職員にとって働きやすい学校であり、地域の方にとって「おらがまちの学校」。まさに「心のふるさ」と思っています。愛される学校づくりとは、一生涯を通しての「心のふるさと」づくりと考えています。

私は「愛される学校づくり」をめざして、二つの戦略を中心に進めています。一つ目は「教師力をアップすること」。「授業研究」を行い、授業を通して、どのように発問し、子どもたちを支援していくかについて考えたいと思っています。二つ目は「外部人材の積極的な活用」です。平成の初めから、「人権総合学習」の出前授業の講師を地域の方に務めていただいて20年。大学生ボランティアを学校に入れて3年。地域スタッフには出前授業のほか、校外学習の付き添いや福祉実践教室の受付・接待、学校内外の花壇整備・施設整備をお願いしています。また学生スタッフは、8人の大学生が曜日を決め、毎日誰かが来校しています。主に支援を要する子どものサポートを進めています。